

8強へ紀南3校

神島、熊野、南部

全国高校野球選手権和歌山大会(紀三井寺球場)は23日に3回戦4試合があり、紀南勢は神島と熊野が勝ち、ともに11年ぶりにベスト8入り。24日の第2試合でも南部が近大新宮を11-1(5回コールド)で破り、準々決勝に進出した。

(南部・近大新宮の詳細は26日付掲載)

【23日】

③第3試合(3回戦)

神島

0400020000

0030200000

5 6

日高

(神)左向・鈴木(巨)平

野・楠山、湯川・山崎▽本塁打1松本(神)、永岡(巨) 6回2死から松本が左翼へ本塁打を放って同点。続く湯田(巨) 神島は2回、2死満塁から2年生の松本が走者一掃の二塁打、続く湯田も安打を放ちこの回に4点を奪った。

神島は2回、2死満塁から2年生の松本が走者一掃の二塁打、続く湯田も安打を放ちこの回に4点を奪った。

第101回全国高校野球選手権 和歌山大会



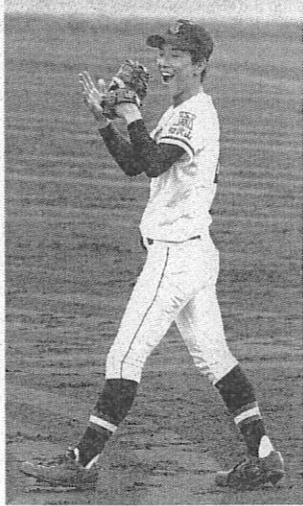
田辺工業 0001000000 0 1
熊野 0000000000 0 0
③第4試合(3回戦)
熊野 0001000000 0 1
田辺工業 0000000000 0 0
(熊)久保・太田寛(田) 寒川、小西・横畑
降雨で1日延びた紀南勢同士の対戦は、熊野が4回、丸山が内野安打で出塁し、四球などで無死満塁になると、多福の中犠飛で1点を先制した。シードの海南を破った初戦に続いて先発した1年生投手の久保は、落差の大きい変化球を武器にテンポの良い投球で



田辺工業

稲垣友輔監督(38)は「自分の調子が悪いときや、けがで大変なときもチームのために動ける選手。声でチームを引っ張ってくれる」と高く評価する。

初戦の2回戦は延長13回のサヨナラ勝ち、最高のムードで熊野戦を迎えた。4回に1点を先制された場面でも、中家は投手で2年生の寒川陽翔(16)に駆け寄り「落ち着け。点は取ったから」と声を掛けた。その後も「塁を守りながら一周りを見ろ」「後ろは守ってあるぞ」と励まし続けた。1点を追いつける展開で、スタンドでは母の和代がチームの強みだが、数少ない得点のチャンスを生かすことができなかった。中家は無安打。「試合に出られなかった子の分まで頑張った」と声をかけた。



悔いが残った夏

中家は後輩に向けて「来年は悔しい思いをせんように、練習から全力で頑張っ

(敬称略)

神島 打安点			
【一】	養北	3	1
【二】	田野	5	1
【三】	間本	5	2
【左】	向平	3	1
【右】	田平	2	0
【捕】	鈴木	4	1
【遊】	森本	4	0
【中】	松岡	3	0
【投】	松本	4	3
【振】	松本	4	3
【球】	松本	4	3
【盗】	松本	4	3
【残】	松本	4	3
【失】	松本	4	3
【打】	松本	4	3
【安】	松本	4	3
【点】	松本	4	3

日高 打安点			
【中】	永東	5	1
【二】	久保	4	0
【右】	久保	3	1
【左】	久保	4	2
【三】	久保	4	3
【遊】	久保	4	1
【投】	久保	4	0
【打】	久保	4	0
【安】	久保	4	0
【点】	久保	4	0

田辺工業 打安点			
【遊】	線久	4	1
【二】	保呂	3	2
【右】	谷谷	4	0
【左】	小田	4	0
【中】	田中	3	0
【捕】	横瀬	3	0
【投】	横瀬	3	1
【打】	横瀬	3	1
【安】	横瀬	3	1
【点】	横瀬	3	1

熊野 打安点			
【左】	修大	3	1
【二】	山崎	3	0
【右】	山崎	3	0
【捕】	山崎	3	0
【遊】	山崎	3	0
【投】	山崎	3	0
【打】	山崎	3	0
【安】	山崎	3	0
【点】	山崎	3	0

投手 回 安 責			
久保	9	4	0
寒川	6	2	1
小西	2	1	0

投手 回 安 責			
左向	9	9	5
平野	2	2	4
湯川	4	5	1
湯川	2	2	0

田辺工業打線を抑えた。田辺工業は6回、死球と敵失、内野安打で1死満塁の好機をつくる。畑谷の左飛で三塁走者がタッチアップした。熊野が早かったとして併殺になり同点のチャンスは逃した。先発投手の2年生寒川と、初戦で延長13回を投げ抜いた小西が好投し、最少失点に抑えたが打線にあと一本が出なかった。

完封勝利を挙げた熊野の久保は「初戦でシードの海南に勝って気持ちが乗っていた。次も伝統校の熊野を倒してやる」という気持ちで臨んだ。

③第1試合(3回戦) 桐蔭5-4紀実館
③第2試合(3回戦) 那賀8-1和歌山高専(8回コールド)
③第3試合(3回戦) 25日の予定(準々決勝) 第1試合(午前10時) 箕島-熊野 第2試合(午後0時半) 桐蔭-那賀